

標 題： Virgin Olive Oil Study (VOLOS):  
vasoprotective potential of extra virgin olive oil in mildly dyslipidemic patients  
バージンオリーブ油研究(VOLOS):  
軽度脂質異常症の患者におけるエクストラバージンオリーブ油の血管保護能力

---

著 者： Francesco Visioli, et al. (イタリア ミラノ大学 薬理学科)

---

掲 載 誌： Eur J Nutr. 2005 Mar; 44(2): 121-7.

---

要 旨：

背 景： In vitro(体外)で、オリーブのフェノールは強力な抗酸化および酵素一調節の活性を発揮する。

研究の目的： 我々は軽度脂質異常症の患者で、エクストラバージンオリーブ油の血管保護能力を比較して評価する。

方 法： 22人の患者に、40mL/日のエクストラバージンオリーブ油〔フェノールが豊富〕または精製オリーブ油〔フェノールが不足〕(EVOO または ROO、ほとんど同一の脂肪酸組成)を、クロスオーバー計画で投与した。  
各処置を7週間で実行し、ウォッシュアウトの4週間に間に入れた。  
血漿の抗酸化能力、血清のトロンボキサン B2(TXB2)形成、および尿のイソプロスタノール排泄を、心臓保護能力および血管機能の、代理マーカーとして評価した。

結 果： 血漿の脂質/リポタンパクの組成には、影響が無いと認められた。  
逆にエクストラバージンオリーブ油摂取は、血中マーカーに対する好ましい影響と関連した。  
つまり、血清 TXB2 生成の減少および血漿抗酸化能力の増加が、エクストラバージンオリーブ油を投与したときに両方の処置群で観察された。  
どちらの処置も、イソプロスタノール排泄に対して有意な影響が無かった。

結 論： 軽度脂質異常症の患者によるエクストラバージンオリーブ油摂取は、心血管系疾患の血中マーカーの好ましい変化と関連する。  
現在の知識に基づいて、これらの影響は心臓保護と関連する可能性がある。

キーワード： アテローム性動脈硬化、抗酸化物、冠動脈疾患、フリーラジカル、オリーブ油、イソプロスタノール

---